

図書館報

第十一号

昭和三十四年五月三十日

発行所 福岡市西新町

西南学院図書館

発行人 山下和夫

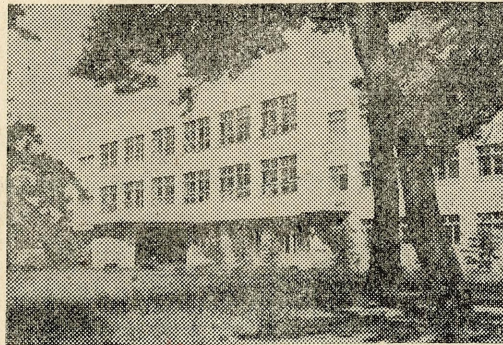
パンと科学

—— 新入生の諸君へ ——

館長 船越 栄 一

西洋のことわざにユスティニアヌスが名譽を与えるという言葉がある。これはローマの皇帝ユスティニアヌスが作った「ローマ法大全」が名譽を与えるということであり、すなわちローマの法律を知っていること、一般的にいえば法律を知っていることが立身出世に役立つという意味である。

大学においては法律学、経済学、



経営学などに関する専門知識を教授する。それは確かに一面において職業教育の面をもっている。しかしそれはドイツローマン派の詩人シルレルがいつたように決して「パンのための科学」ではない。大学は専門の知識の教授、研究を通じて学問の本質を把握し、真理を追求する場である。

われわれは教室における授業と研

究のための読書によつて真理に迫ることができよう。ここに研究の場としての大学図書館の意義と重要性とがある。大学図書館の利用度がその大学の学問の高さを示すバロメータといわれるゆえんである。

わが図書館においては諸君の図書利用の便宜のため、全国にも稀れな開架式という制度を採用している。これは閲覧者が直接書庫にはいつて自由に図書を閲覧できる制度である。この制度の採用に当つては、損耗と紛失度の高いことを理由に有力な反対論があつたにもかかわらず、大学の教授会がこれに踏み切つたのは、キリスト教大学がこの制度を採用しなければ、この制度を採用しうる大学はどこにもないと信じたからである。

開架式図書館は学院の誇りである。そうしてこの誇りは諸君の協力によつてその輝きをさらに増し加えるであらう。諸君がわれわれの信頼に答え、この制度を活用してわが大

館内案内

新入生諸君、図書館では学生諸君の利用のために出来るだけの便宜をつくっております。図書館の機構を充分理解されフルに活用されるようお勧めします。

入退館

退館の際所持品を受付に明示して下さい。これは自由開架式図書館利用者の常識であります。

閲覧

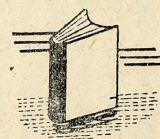
書架から本をとり出す後は必ず入口のカウンターの上に置いて退室して下さい。館員が配列致します。閲覧室内では喫煙、飲食は厳禁です。

館外借出

禁帯出以外の図書はどれでも一週間借出

学の学的水準を高揚していただくようせつに祈るものである。

写真は西南学院図書館



することが出来ますが、一週間を経過すると一日につき十円徴収されますから充分御注意下さい。

御意見

御意見、御希望、苦情などは投書箱を御利用下さい。又購入希望もどしどしお出し下さい。その他不明の点お気付の点など遠慮なく館員にお申出下さい。

故藤井泰一郎教授の蔵書六九二冊寄贈される

去る二月廿八日急逝された故藤井泰一郎教授の遺された蔵書六九二冊が御遺族の手によつて本館に寄贈されました。この中には先生の愛用されていた辞書類も含まれており、先生をしのぶよすがとして特に藤井文庫と名付けられました。御遺族の方に心から感謝致します。

LIBRARY WELCOMES THE FRESHMEN

☆ 一年生の頁 ☆

読みおえてはげしき言葉

書きこみし

赤インクにじむあの頃の本

― 規正 ―

経済学開眼

私の経済学への眼を開いてくれたのは、河上肇「貧乏物語」「経済学大綱」であり、つづいて改造の経済学全集の資本論体系(上、中、下)を経て、林要訳ヒルファードインクの「金融資本論」の学習をしたのは丁度諸君の年頃であつたが、今は与謝野晶子さんでも生きていたら「マルクシズムのあつき血潮にふれもみで、

淋しからずや数学をとく君」

とでもいわれそうな恰好をして、経済学の学習のために、なによりもまず数学を勉強せよと強調しなければならぬのは、経済学が、実践的な計画の学として、その技術性が顕著になつて来たからである。

高校数学に接続するもの

諸君の大部分は、高校で解析Ⅱか数学Ⅲで計算技術としての微積分は、特に受験勉強でいやというほど、きたわたれたにちがいない。

したがつてそれに接続するものとして大学ではまず(一)そのような微積分

分の基礎をほりさげなければならぬ。それに関する、経済学に必要な事項は(1)簡単な集合論(2)切断(3)数列の収斂条件についてのコーシーの定理

(4)数列の一致収斂(5)ハイネボレルの被覆定理(6)一様連続(8)和の極限としての積分(9)ピカルルやコーシーの微分方程式の解の存在定理

(10)多変数関数の極大極小と(11)二次形式の理論

(12)二重積分三重積分における被積分関数の変数の積換と(13)ヤコビ

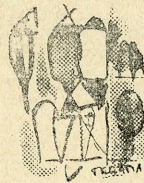
1の函数行列式及び(14)空間における写像の概念

(15)常微分方程式と(16)定差方程式(17)ベクトル

(18)ベクトル空間(19)行列と逆行列(20)行列と連立方程式

統計学

統計学も相関分析、簡単な最小自乗法、確率の二項定理とこれにもとづく統計的な推測は、当分大学の入試には出ないが、高校では学習したはずである。大学の教養の統計学ではこれに接続するものとして安西広忠「数理統計の基礎と応用」程度のことは学習すべきである。オリゴポ

GuideBooks
to
Economics経
済
学

基礎数学から

近代経済学まで

平岡規正

こういう本を読む

以上の事項については、私も殆んど独学であるので、私の推薦する本は、適当でないかもしれないが、これから列挙する本は私にとつては、いずれも忘れたくない本ばかりである。

(1)遠山啓「無限と連続」(1)(2)矢野健太郎「現代数学読本」(2)(3)細井涼「数列及び極限」(1)(2)(3)(4)(5)(6)掛谷宗一「微分学」(8)矢野健太郎「微分積分学」(9)養賢堂発行「大学教

理の分析には(2)ゲームの理論に対する理解が必要であるが、これも確率論の応用としては、統計学の一部分であり、オリゴポリの研究は経済学に属することであるから、ゲームの理論は、経済統計の重要な内容なすであらう。(2)線型計画をその一部分としてふくむ(2)オペレーションリサーチ(O・R)においてゲームの理論は大いに利用されている。

課微分方程式」(10)日比野勇夫「経済理論の数学基礎」(11)高木貞治「数学講義」浅野啓三「線型代数学提要」(12)弥永、亀谷、田村共著「微分積分学」(13)ボーモル「統計動学序説」(14)藤森良夫「微分方程式」(15)評論社発行「定差方程式」ヒックス「景気循環論」(16)サミュエルソン「線型計画と経済分析」(17)遠山啓「無限と連続」(18)古屋茂「行列と行列式」(19)(20)(21)岡本、稲田共著

「現代経済学のための数学入門」(21)河田、国沢共著「現代統計学(下)」(22)近代経済学教室

IV(23)「やさしい経済学IV」、サミュエルソン外

「線型計画と経済分析」、ドーファン「リニア

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

「現代経済学」

価格論」は部分均衡の範囲にとじこもりすぎてはいるが、これ以上の本はない。必読書である。一般的均衡論では栗村氏のがよい。

近づき易いケインズ

ケインズ経済学は巨視的な理論で諸君の最も近ずきやすいものであるが、この入門書としてはデイラード「J・M・ケインズの経済学」が一番よい。これからハンセンの「ケインズ経済学入門」を手がきとして、ケインズの「一般理論」をよむべきである。

ケインズ以後

(24)ケインズ以後の景気変動論を学ぶためには、KKクリハラ「ケインズ動学入門」森島通夫「資本主義経済変動論」ヒックス「景気循環論」ボーモル「経済動学序説」サミュエルソン「乗数理論と加速原理」ハロッド「動態経済学序説」佐藤豊三郎「近代経済学概論」などがよい。

線型計画

(25)線型計画産業連関論では、森島通夫「産業連関論入門」古谷弘「現代経済学」サミュエルソン「線型計画と経済分析」近代経済学教室IVがよいであらう。

近代経済学の意義と本質

最後に近代経済学の意義と本質については、見とほしの広内在的批判の書としての能谷尚夫「近代経済学」を推薦せざるをえぬ。不幸にして書中で解析Ⅱや数学Ⅲを学習しなかつた例外的な人々には、寺尾琢磨「経済学研学のための基礎数学」をよむべきであらう。

(筆者は本学教授)

一年生の頁

てがらく読めて、しかも現代のフレッシユな問題意識の中でこの現代に活きる歴史的宗教のもたらす事実を体験し思索していつている教養的なもの(邦語のもの)を少し挙げよう。

三十円のアテネ新書で赤岩栄氏の「神を探ねて」は、科学合理主義の懷疑から現代人としてイエスに出会った尊い記録であり、古い聖書の知らせるイエス

という存在によつて永遠に古くして新しい人間実存の力に立たせられた告白「イエス伝」(月時書房)

と共に、まず勧めたい。小さなものが北森嘉蔵氏の「聖書とこゝろ」(教文館)も毎日新聞に二年間連載された小文書で、聖書の「言葉の持つ威力―魅力」を

「直感」させるもの同氏の「救済の論理」(創元文庫)と共に水際立つたオリジナルであり、古典的風格と体験が文章の底から現代人の体験に光り迫ってくる三谷隆正の小冊「信仰の論理」(新教社)と並ぶものと言えよう。

広く世界的展望の中で現代社会の

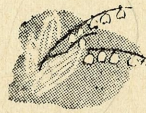
矛盾にイエスにある光りの中で挑戦し苦悶し、明日への希望を仰いでいるものとして、パウロ・ティリツヒの説教「地の基ふり動く」は、文庫本でのベルチャエフ「マルクス主義と宗教」(孤独と愛の社会)や、ニーバーの「信仰と歴史」や、(彼についての優れた解説者「ニーバーのマルクス主義批判」山本新。「人間、社会、歴史」武田清子等あり)

最も読まれたという事実をうなづかせる面白いもの。

またフオスデック「ナザレ人イエス」(日本基督教青年会同盟刊)は資料構成的に新約聖書を再構成して聖書の発生の源の生命にふれさせる。

私の推薦図書

山路基

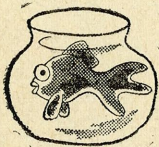


キリスト教

またブルンナーの「キリスト教の蹟

き」(教会の誤解)「正義」(新教社)等と共に、現代の一つの良心の姿でもあろう。

聖書を現代人の眼で、生き々とその深みに踏み入らせるものに、最近ドン・ボスコ社から出たダニエル・ロップス「西洋文化の淵源―聖書の民」(旧約)があり、戦後歐洲で



やはり現代最高の本格的な教会と福音の再発言といえはカール・バルトの小冊「ヒューマニズム」や「教会と国家」(共に新教社)などはどうしても挙げねばなるまいし、また佐古純一郎氏の「純粹の探求」「信仰と文学」以来「キリスト教問答」等の文学的探求もぜひ紹介したいものの一つである。

(筆者は本学講師本年八月ドイツ留学の予定)

○世間には、俗に食通と称してこ

と喰い物への含蓄と造詣の深さ

では俺の右に出る者無しと自負

する御仁から、映画通、音楽

通、果ては御時世を反映して

の入試通に到るまで自称他称

の通人ゴマンと居る中に図書館

通を名乗る奇特

な君子にトンと

御目にかゝらぬ

のはちといった

けない。

○近頃世間は文化

ブンカと大変お

にぎやかな事だ

が、図書館を知

らずしてブンカ

もハチのアタマ

もあつたもので

はない。そこ

で、図書館通と

して心得おくべ

新版一

図書館ツウ論

一連載第一回一

ルを御覧あれ。これはその本の種類と書架の場所を示す。言はゞ所番地の様なもの。女人ならばこの番号を見て何階のどの書架のどの辺に並ぶと言う事がピンと来る。

所でこの番号、自動車の車種ナンバールと同様数字にして数値にあらざる。

だからこの数字は全て文字に翻訳出来るのである。又この番号「サンサンゴ」

「キユウイチサンのロク」と言つた具合に発音するのが通のカンどころ。

○図書館の目録カードを自家薬籠中の物とした人こそ図書館通の中の図書館通。

相当の高速で何万枚のカードの中から目的の一枚を抜き出す所が通の通たるゆえん。

☆或る本が本来あるべき棚からコツ然と姿を消した場合これをケツポン(欠本)と称する。勿論自然現象ではないことを銘記すべし。

「科学的経営の体系と本質」出版にあたって

著者 山本 純 一

今世紀後半期においての経営学の最大の課題は、その学としての「総合」ということであろう。そしてそれが、たんに学問的興味だけにいたったのではなく経営の実践の問題として提起せられたところにより大きな意義がもたられる。

なぜならこのような経営の実践の問題は、経営管理の総合化ないし体系化を要請するからである。かくて従来、生産、労務、財務管理等々の部分管理として発展させられてきた領域が、ここで一元の総合化をもとめる。かかる総合のためには、一の本質たる中軸を内包した体系が究明されねばならない。そしてそれこそ「管理の科学」ないし実践科学としての「経営学」にはかならないのである。

「科学的経営の体系と本質」

この本は経営学書6として本年3月森山書店(東京)から出版されました。A5版。二七五頁。(※図書館では二階商学閲覧室の書架に配列しております。)

分類番号は(333.082.9-6)

ある。

かくして経営管理論は「科学的管理」の体系と本質を見つめなおそうとする。そして科学的管理はその原典であるテイラーの諸著作とそれによつてきたつた背景ならびに基盤を、現代的意識の投写として再吟味されるときはじめて、時代の風霜に耐えてきた真価を露呈するにいたるのである。

科学的管理は従来の支配的見解によればそれは部分管理たる生産管理の一面の体系に支えられて、「課業」を本質とするところの管理の科学であるという。

私のつたない論文はかかる通説への懐疑にはじまり、叙上の総合的経営管理論への橋渡の路をみいだすためのものである。そこで明かになったことは、テイラーとその先覚者たちが資本主義経済における矛盾を内包した近代的経営構造をば正しく生産的労働の組織であることを透視し、経営的生産における内在の本質とその科学的体系を構築し、そこから総合的経営管理の構造を原型として実践化し組織化していたということである。

Walter Allen の

" The English Novel " など

金山 直 晴

毎年小説の講読を受持つてハーディとコンラドとの作品の中から交互に教科書を選び、今年度はハーディの順番になった。彼の最後の小説が出た年にコンラドの処女作が出版されたのは偶然とはいへ意味深いものを感じさせる。前者は十九世紀の最後を飾り後者は二十世紀の新生命を予表する。英国小説の元祖にはバニヤンとデフォートを立てるのが定説らしく、その後

これはもと一九五四年に出たのが、今度ペリカン本の一冊としてあらわれ手に入り易くなった、が所々誤植のあるのを我慢しなければならぬ。常に継続的現在の中において英国小説の伝統と特質とに関連して作本である。

家作品を検討することがこの人の批評的態度で、各所引用文献は研究の指針にもなる。この著者には Six Great Novelists (一九五五) がある。デフォート、フィールディング、スコット、ディケンズ、スチーブンソン、コンラドを取り上げて作家の生活経歴と作品の特質との関係にまで論及している。元来青少年向きシリーズの中の一冊として書かれ(そのため図書館に入れるのを見合わせ) 行文平明であるが調子を下げた感はなく特に入門書としては好適な読物と思う。序ながら「英国小説入門」というアーノルド・ケツルの二冊も手頃である。

助教授を経て現在商学部教授。福岡県中小企業診断員。著書「労務管理——職務合理化について——」(全国農協連中央会)



編集後記

今回は主として一年生へのガイダンスに焦点をあけて編集した。本号のために快く筆をおとり下さった執筆者の諸先生に深謝する。次号は就職特集号。御期待あれ。

著者略歴

昭和十八年九月東京商科大学(現一橋大学)卒業、戦時中、海軍監理官監査官附。西南学院大学商学部

末筆ながら神の御心により建てられ管まれる母校西南学院が、この研究の道程において溢れるばかりに注いでくれた愛と守護と激励にたいして深い感謝と祈りを捧げる。そしてとくに、本学の卒業生や在学生諸君が研究と執筆に行き悩む愚才にむけて下さった温かく清純な聲の数々を思いうかべては涙する。